

	<h1 style="text-align: center;">進取の気概</h1> <p style="text-align: center;">(校長室だより)</p>	<p style="text-align: center;">有田市立箕島中学校</p> <p style="text-align: center;">自主 友愛 剛健</p>	<p style="text-align: center;">R3・12・3</p> <p style="text-align: center;">No.49①</p>
---	--	--	--

毎年12月4日～10日までの1週間を「人権週間」と言います。そして、最終日の12月10日は「人権デー (Human Rights Day)」です。1948(昭和23)年12月10日に「世界人権宣言」が国連総会で採択されたことに由来します。12月4日～10日の間、人権について考えるイベントなどがいろいろなところで開催されます。

以前、みなさんに出した課題(権利が複数形Rightsとなっている理由)について、もう一度みなさんの意見を読みました。「一人の人間の中にも『生存』『自由』『幸せ』に関わるような権利がたくさんあるから複数形になっている」という意見や「誰もが平等に持っているものだから複数形になっている」など、どれも説得力のある素晴らしい意見ばかりでした。



「気になるので解いてみました。サラさんは何時間勉強ができるのか、みなさんも一度解いてみてください。」

しかし、この問題で大切なことは、これは単なる数学の問題ではないということです。問題の下には、次のような文章があります。「この問題は、本当に問題です。世界では、子どもの6人に1人が学校に通えていません。」すなわち、これは単なる問題(クイズ)ではなく、貧困や紛争といった困難な状況で解決を求められている世界中の人に投げかけられている問題(プロブレム)なのです。どうしたらこの問題を解決できるのでしょうか？

明日からの人権週間、人権週間ポスターには“「誰か」のことじゃない”というキャッチコピーがあります。サラさんのような問題だけでなく、私たちの周りにも人権に関する問題はたくさんあります。これらの問題に対し「誰か」のことではなく、無関心にならずに、自分自身のこととして一人ひとりが問題に向き合うことが大切です。明日から人権週間です。

	<h1 style="text-align: center;">進取の気概</h1> <p style="text-align: center;">(校長室だより)</p>	<p style="text-align: center;">有田市立箕島中学校</p> <p style="text-align: center;">自主 友愛 剛健</p>	<p style="text-align: center;">R3・12・3</p> <p style="text-align: center;">No.49②</p>
---	--	--	--

### 〈保護者のみなさまへ〉

人権週間・人権デーは人権を大切にする考え方を広める活動を展開することが目的です。本校においては、11月に人権(Human Rights)について、どうして権利(Rights)が複数形になっているのかを子どもたちに考えてもらいました。また、にしやんたさんを講師として招聘し多様性をテーマにした人権講演会を行いました。子どもたちの意見や感想を読んでいると、真剣に受け止め、いろんな角度から考えてくれました。大変うれしく思っています。

学校が人権教育で大切にしていることは、子どもたちの人権感覚(人権が擁護されていることを感知してこれを望ましいと感じ、反対に人権が侵害されている状態を感知してそれを許せないとする感覚)を磨き、人権が大切にされて

いることを肯定し、逆に侵害されていることの問題性・不合理性を認識して、人権侵害を解決せずにはいられないとする意識を高めることにあります。

人権というところか堅苦しいイメージがありますが、子どもたちが幸せに生きていく上で、これほど重要な学習はありません。人権感覚はいかに時代が変わっても変わらない人間関係の根底をなすものだと考えています。

人権感覚のベースとなるのは、自分のことを価値ある存在として捉える自尊感情というもので、これを育む心の栄養素が「肯定的な言葉」です。自尊感情が低いと自分のことを大切に思えない、自分のことを大切に思えないと他人のことも大切には思えなくなります。本校では「子どもたちの自尊感情を高めること」を重点の一つにして取組を進めています。

ご家庭におかれましても、今後とも子どもへの肯定的な言葉がけや子どもと人権について話し合ったり一緒に考えたりする機会を大切にさせていただきますようお願いいたします。

「人権感覚」って何ですか

それはケガをして 苦しんでいる人があれば  
そのまますどおりしないで「大丈夫ですか」と  
助け励ます心のこと

「人権感覚」って何ですか

それは悲しみに うち沈んでいる人があれば  
見て見ぬふりをしないで「一緒に考えましょう」と  
共に語らう心のこと

「人権感覚」って何ですか

それは偏見と差別に 思い悩んでいる人があれば  
わが事のように感じて「そんな事は許せない」と  
自らすすんで行動する心のこと

「人権感覚」って何ですか

それはすどおりしない心 見て見ぬふりをしない心  
他者の苦悩をわが苦悩として  
人間尊重のために行動する心のこと

～「光は風のなかに」(桑原 律)～